【様式①】令和6年度　学校評価書（小・中・特別支援）

学校名　藍川北中学校
校長名　河合美佐子

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	校長のリーダーシップの下で小中学校が教育課程の実現に向け、有効に機能する組織をつくり、希望あふれる未来を自ら拓くための能力や生命を尊重する態度、いじめを許さず人権を尊重する態度を育むと共に、個別最適な学び、協働的な学びの充実に向けた授業改善を推進する。	A	令和7年度の義務教育学校開校を念頭に、協働的な学びを実現するための6年度の教育課程を検討した。	校長の指導のもと、教職員は日々の児童、生徒の指導に尽力している。	令和7年度義務教育学校の開校に向け、9年間の成長を見通した教育課程を工夫、改善し、協働的な学びの実現を図る。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	令和7年4月の義務教育学校の開校に向け、小中だけでなく、家庭・地域との連携をさらに充実させるとともに、藍川地区の地域人材を活用した教育活動を推進する。	A	令和7年度の義務教育学校の開校に向け、意図的に小中合同の行事や校外学習を仕組み、それぞれの活動において地域人材を積極的に活用することができた。	地域にとって、小学校、中学校は藍川地区にとっての核である。義務教育学校の開校に向けて、先生方も様々な知恵を出して取り組んでいる。地域として是非、協力していきたい。	令和7年度の活動では、本年度の成果をベースに前期・後期課程合同行事をさらに推進するとともに、その中で新たな地域人材を探していく。
あたたかさと働きがいにあふれる学校づくり	業務の内容と量の管理及び見直しを日常的に行い、働き方改革を推進することで、子どもと深く向き合う時間を確保し、指導の場の充実を図る。 教職員相互の同僚性を高め、ともに教育に携わる仕事をすることについての働きがいを創出する。	A	日頃から、職員の校務分掌に対して、より効率的で無駄のない働きかたを指導することで、指導の質の向上を図ることができた。小中の教職員が合同行事に共に企画運営に関わることを通して、同僚性を高めることができた。	先生方の働きかたは大切であると考えている。学校運営協議会やPTAとしても、今後も学校の活動に積極的に協力していきたい。	さらなる教育の質の改善を図るために、働き方改革で生み出した時間を、より生徒理解のための時間や教育相談の時間に充てることで、様々な問題の未然防止や早期対応を行っていく。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	小中学校で共通の危機管理マニュアルを理解し、実践的な研修を重ねることで、危機管理の意識を高めるとともに、様々な非常事態に対し、迅速かつ組織的な対応ができるようにする。また、災害や事故における被害の未然防止及び危険回避のための技能の向上を図る。	B	警報時の引き渡しを小中合同で行う中で、課題を明らかにし、マニュアルを見直すことができた。また、小中合同防災学習を実施し、未然防止や災害時の動き方についての知識・技能の向上を図ることができた。	小中学生が一緒になって、地域の協力も得ながら、様々な防災学習に取り組むことができていることは高く評価できる。今後も協力して地域防災に取り組みたい。	学園としての危機管理マニュアルを統一して、命を守る訓練や防災学習の指導を行うことを通して、前期・後期課程の教職員がともに危機管理への技能を高めるとともに、子どもの命を守る意識を高めていく。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	個人情報の適切な管理、施設設備や教材教具、ICT機器などの定期的な点検を行うなど学習のための環境の整備に努めるとともに、教職員がデジタル教科書、ロイロなど、デジタル技術を日常的に授業で使えるように研修を重ねる。	A	個人情報及び、各種施設設備の点検を確実に行い、適切に活用できた。タブレット端末を用いたロイロノートの積極的に学習での活用を促し、授業改善することができた。	児童生徒は、授業で積極的にタブレットを使いこなすことができている。今後も、個々が自らの課題を解決する学習に使ってほしい。	ICT環境を有効に活用し、特にロイロノートの積極的な活用を促すことで、さらなる授業改善を図り、個別最適な学びの実現を図る。

HPアドレス：　https://gifu-city.schoolcms.net/aikawakita-j/